

卒業研究ゼミナール報告書

タイトルをここに書く

副題があればここに書く

18-1-037-0999

近大 情治

近畿大学工学部情報学科

2020年12月23日

1 はじめに

1.1 本研究の背景

本報告書は、卒業研究ゼミナールの調査報告である。本報告では、(調査テーマ)について調査を行った。本テーマを選択した理由は(テーマを選択した理由を書いてください。このテーマについて調査することにどのような意味があるのか、この調査から何が得られるのかを客観的に書いてください)。本報告書の構成は以下の通りである。まず第2章で… 第3章で…。最期に第…章でまとめと考察を行う。

2 調査内容その1

本章では、調査内容その1について述べる。

2.1 調査内容その1とは

調査内容その1とは(説明してください).

2.2 調査内容その1

(自分が調査した内容に関し,出来るだけ詳しく説明してください.説明文を書く際に参考にした文献(書籍,雑誌,インターネットのURL)等については,その出展を明らかにするために,参考文献番号を説明各所に適切に記入してください)

3 調査内容その2

3.1 調査内容その2とは

3.2 調査内容その2

4 報告書作成上の注意点

本章では,報告書を作る上での注意点について述べる.

4.1 図,表のキャプションと参照

図や表には必ず題名と参照番号を書いてください.参照番号は label を使って自動的に作成するようにし, ref を使って本文中で参照できるようにしておきます.

図や表を入れた場合,必ず図の参照番号を使った文章が本文中に必要です.例えば次のようにします.

図1は図のサンプルである. $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ のソースを見ると図の入れ方がわかる.

図が単独で現れ,本文中に何の説明もなければ,ただのページ稼ぎと見なされます.

4.2 参考文献の引用

参考文献は,本調査が十分な調査活動を基礎として成り立っていることを明示する,大変重要な項目です.

調査で参考とした文献のリストを報告書の終わりに入れ,それらの文献に関係のある記述部分や,文献に書いてある文章の引用を本文内で行なっている箇所には必ず参考文献の番号を入れなければなりません.

文献を引用する場合は以下の点を守ってください.引用であることを明記せず,他人の文章を丸写ししてはなりません.

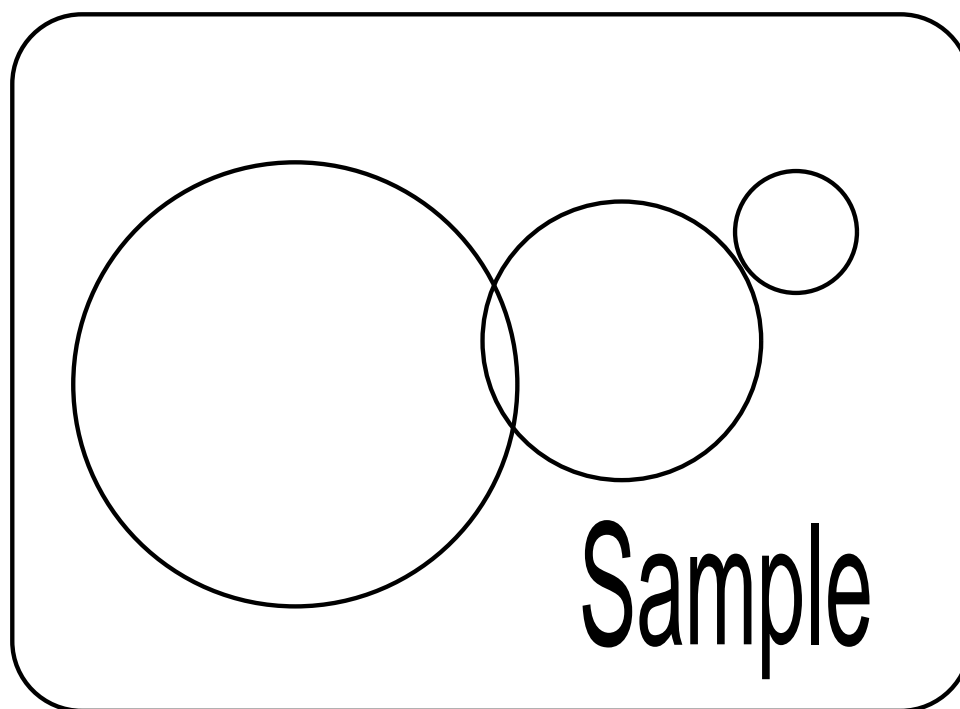


図 1: 図の例

- 引用部には参考文献番号を付け、どこからどこまでが引用であるのか、どの文献の何ページから引用したのか、はっきり分かるように書くこと。
- 文献の記述から都合の悪い部分をカットしたり、文章の一部だけを抜き出して著者の言いたいことを歪めたりしないこと。
- 文献の孫引きはしないこと。ある文献が他の文献を引用している場合は、できるだけ元の文献を参照する。

4.3 各節の引用

各節にも label をつけておいて、後の節で節番号を使って自動的に引用番号を記述できるようにしておくといいでしょ。例えば次のようにします。

1 節で述べた目的を達成するため、本節では次のような方法を用いた場合について述べる。...

label と ref を用いた参照は 図のキャプションや section, subsection だけでなく、数式等にも使えるので、番号を手でつけることは出来るだけ控え、自動的な番号づけと参照を行ない間違いのない文章になるようにしましょう。

5 まとめおよび考察

本報告では、…について調査し、まとめた。(内容をまとめてください。)
(考察を書いてください。この調査結果から何が言えるのか、このテーマは今後どのようになっていくと考えられるのか、等を根拠を明記して書いてください)。

参考文献

[1] 文献その1

[2] 文献その2

[3] 文献その3

(文献を挙げるときは、著者名、タイトル、出版社、出版年、URL を書いてください。新聞であれば月日も必要です。ウェブ上の文献なら、著者名、タイトル、サイト管理組織名、最終更新年を書いてください。ただしウェブ上の文献は必要最低限とし、できるだけ書籍なり新聞なりの文献を挙げてください。)